

農時新聞

2012年
(平成24年)

8月10日

金曜日

2号

(毎月10日発行)

旬感印刷

新聞印刷/商業印刷/DTP

品質とスピードをモットーに

株式会社 日刊スポーツ印刷社

〒104-0045 東京都中央区築地7-8-5

電話: 03-5550-8210・8211

http://www.nikkansp.co.jp/

23 ▶加須・被災者を支援しようと活動拠点開設
▶サークル「久喜・謡曲同好会」

4 ▶シリーズ「郷土を訪ねて」①鷲宮神社
▶風雅・風流・和歌列歌

発行所 〒346-0016 埼玉県久喜市久喜東2-4-1(株)フジハウジング内 TEL0480-26-4568 FAX0480-21-0970

夏の風物詩

吉羽天満宮の獅子舞



約200人が参加
古式豊かな舞を堪能

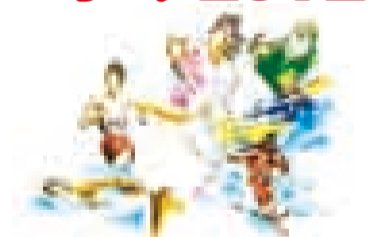
久喜市吉葉地区の夏の風物詩「吉葉天満宮の獅子舞」が7月22日、同境内などで行われた。例大祭には町内などから若男女の約200人が参加、「昨年家族で来たが全員おかげさまで無病息災だったので今年もみんなできた」「夏といえはこれがお祭り。これが始まらないと夏の気分になれない」などと話す人々は「五穀豊穡」「天下泰平」「家内安全」につながる古式豊かな舞を堪能していた。

このお祭りは江戸時代中期から始まったと言われている。大獅子、雄獅子、雌獅子が3頭で1組となり、「3頭1人立ち獅子」の形式で独特の獅子舞を演じる。また同祭りではこの地域の安泰祈願に通じる剣持ち二人による棒術「辻斬りの舞」も披露した。

午前10時から始まった祭礼は、まず吉葉天満宮の藤沼恵美子宮司による厳かな祝詞から始まった。そのあと参加者は社殿で銘々参拜。お目当ての獅子舞は午前11時からスタート。今年の演者は、大獅子が町田秀夫さん、雄獅子が槍田昇さん、雌獅子が出口諒輔さん、天狗が町田章さん、剣持が中村侑登君と出口大輝君、笛吹が鈴木美穂さん、田中祐さん、町田勇夫さん、田中杏奈さん、田中悠香さん、道化が槍田重男さん、ほら貝(獅子舞指導)が山口幸太郎さんの総勢13人。演者たちは境内前で約1時間近く汗だくになりながら舞を披露した後、吉葉地区の各社々で町内の安泰などを祈願する舞を約1時間にわたって演じた。

吉羽天満宮の獅子舞は久喜市の無形民俗文化財に指定されている。同地区では獅子舞を地域の伝統文化として後世に伝承しようと保存会を設立した。現在演技者として獅子、剣持ち、笛吹きを募集中。とくに小学生の参加を希望。参加したい方は槍田勝良さん(☎0480-21-5456)、山口幸太郎さん(☎0480-22-3606)へご連絡を。

今までもそしてこれからも
スポーツLOVE



頑張るあなたを応援します

日刊スポーツ

月々 1カ月3,260円(税込)

購読のお申し込みは ☎0120-81-4356

日帰りの名湯 百観音温泉



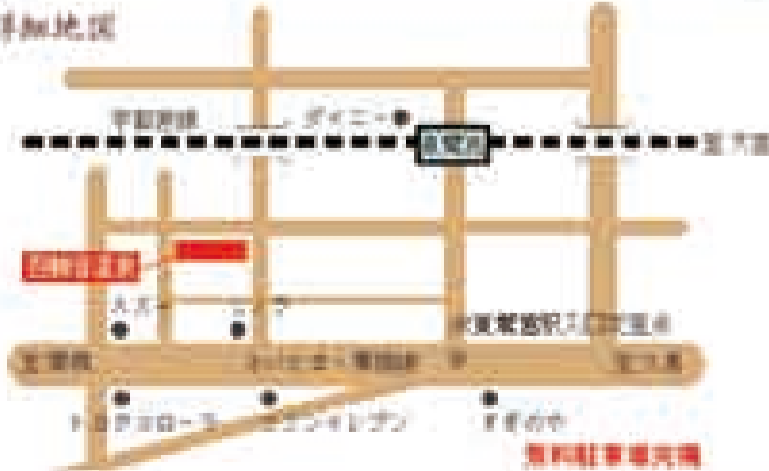
全ての浴槽が濃厚な源泉で満たされた掛け流し

豊富な
湯量

家族も
満点

自然温泉
57℃

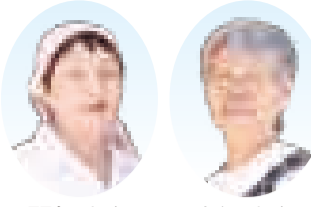
詳細地図



埼玉県久喜市西大井2-10-1

TEL 0480-59-4126

加須「こらっせ、くわっせ双葉」の仲良し2人



「福島双葉町の銘菓・茶饅頭がまた埼玉で作れるとは」。そう語った関根茂子さんは感極まって思わず涙ぐんだ。それを隣で見ていた富沢トシ子さんは「関根さんと富沢さんは、7月8日に加須市正能にできた「寄り添いスナクション」こらっせ、くわっせ双葉」で共に働く。関根さんは昨年の3・11で福島県双葉町から埼玉県加須市に集団避難してきた被災者。双葉町で半世紀以上続く名店の饅頭屋で10年以上勤務していた。一方、富沢さんは地元加須久下で高齢者を支える活動を展開するボランティアの達人。昨年3・11以降は、生来の気質に火が付き、旧駒西高校で交流イベントを開催したり、南相馬市を訪問するなど多角的な活動を開始している。

2人の出会いは昨年の10月。富沢さんが駒西高校で開催する被災者支援イベントの打ち合わせの際、ばったりと遭遇。関根さんは「一瞬で心が惹かれた」と話す。それからというもの2人はいつも一緒。今ではお互いを「シゲちゃん」「トシちゃん」と呼び合う仲だ。とくに関根さんは「私、一人っ子で育ったので、トシちゃんには私の姉さんです」と記者に紹介した。



2人の夢は大きい。活動拠点で現在販売中の双葉町名物の茶饅頭と元祖中国餃子の売れ行きが極めて順調なことから食堂を開きたいという。「食堂ができれば被災者と地元住民との交流はもっと深くなる」。将来の一端を熱く語ってくれた。

半農家の人々



次号のお題「コスモス(秋桜)」

郷土を訪ねて

①「鷲宮神社」

最近のラキスタ人気度が古くは素焼きの土器などを作る人々土師部の移住地から来たこと、本社の鷲宮神社は、東武伊勢崎線「鷲宮駅」から徒歩10分弱のところにあり、社務所でいつごろ創建されたのか聞いてみたが「昔も昔、神代の時代でわからない」とのこと。そこで神社の由緒略記を見てみると、「神代の昔、天穂日宮と子武夷鳥宮とが、昌彦・昌武父子外二十七の部族を率いて当地に神埼神社を祀り、さらに天穂日宮の御霊徳を崇め、別宮を建て奉祀したのに始まる」とあった。



境内には「埼玉県選定重要遺跡堀内遺跡」の各インテアから約15分。社務所(☎0480-5810434)

風雅・風流・和歌列歌



水草に オフィリア見ゆる 自屋夢
東久留米市 謡拙
緑陰の風靡きて吹きすくゆるひんやり夏のうまし味して
文京区 緑雨
みずくま緑陰深く繁りてかわ水暗く流るる風よ
狭山市 蒼風
清流に揺らぐ水草守ること木々の緑陰陽を覆いいる
港区 焦紋
緑陰の水面に映る風の音まろむ午後には流れる
渋谷区 炎

不動産の「柄」とは？

住宅を購入する人から住んでいたお屋敷がある場所です。三番目には「土地探し」の方法はあるのですかと聞かれます。そんな時は、「柄」が不動産を選ぶ秘訣ですとお話します。

第一の秘訣である「柄」は土地「柄」です。具体的には、お寺か神社のそばがとてい土地「柄」です。昔からその地域の方々が、お寺や神社の建物を普請してきた歴史があり、信仰心が篤く、近所付き合いが良好である風習があります。

次に家「柄」がいい土地は近くに大地主さんが



「柄」は土地「柄」です。具体的には、お寺か神社のそばがとてい土地「柄」です。昔からその地域の方々が、お寺や神社の建物を普請してきた歴史があり、信仰心が篤く、近所付き合いが良好である風習があります。

「柄」は土地「柄」です。具体的には、お寺か神社のそばがとてい土地「柄」です。昔からその地域の方々が、お寺や神社の建物を普請してきた歴史があり、信仰心が篤く、近所付き合いが良好である風習があります。

久喜・加須の年中行事

【8月】
【久喜】折り紙教室 16日午後1時30分から4時
【久喜】折紙教室 16日午後1時30分から4時
【久喜】折紙教室 16日午後1時30分から4時



渡良瀬遊水地北アロックの谷中湖で開催(写真は昨年)。渡良瀬遊水地の利用促進、周辺市町の交流及び地域振興のため実施。加須市、栃木市、板倉町などが主催する実行委員会が主催、国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所、古河市、小山市などが後援。1チーム10人で編成するボートレースを見てほしい。詳細は加須市北川辺総合支所(☎0280-6112005)へ。

850万円
東鷲宮駅より約3.5km 栗橋駅より約2.8km
富士ハウジング TEL 0480-26-4568